

しすまかわすいけい い
静間川水系の生きもの



平成 28 年 3 月

島根県
土木部河川課
県央県土整備事務所大田事業所

島根県では、静間川水系の川づくりの基本方針を立てるため、2015年に川やその周辺に生息・生育する生きものを調べました。その結果、それぞれの場所にいろいろな生きものがいることがわかりました。

※感潮域（かんちょういき）

潮の満ち引きによって水深が変化する区間。
海水と淡水が混じりあう汽水環境となる。



この小冊子では、川辺でよく見られる代表的な生きものや、絶滅のおそれのある生きもの、ほかの地域から入ってきた生きものなど、今回の調査で見つかった生きものの一部を紹介します。生きものを通じて、身近な川に興味を持っていただけたらと思います。

貴重な生きもの

国や県では、絶滅のおそれのある生きものを「レッドデータブック」や「レッドリスト」にとりまとめて公表しています。これらの生きものは、絶滅の危機の程度によって下の表のカテゴリーに分けられています。

これらの貴重な生きものについて知るとともに、その生息・生育環境を守っていくことが大切です。

レッドデータブック・レッドリストのカテゴリー

分類 (カテゴリー)	略称	
	国 (環境省)	島根県
絶滅危惧Ⅰ類	国 CR+EN	島 CR+EN
絶滅危惧ⅠA類	国 CR	—
絶滅危惧ⅠB類	国 EN	—
絶滅危惧Ⅱ類	国 VU	島 VU
準絶滅危惧	国 NT	島 NT
情報不足	国 DD	島 DD



※次のページからの写真右上の黄色枠内の記号は、カテゴリーの略称を示します。

【生きものを調べるのに用いた図鑑など】

- ・ 静岡川水系河川整備基本方針および参考資料 (2016 島根県)
- ・ 改訂しまねレッドデータブック 2013 植物編 (2013 島根県)
- ・ 改訂しまねレッドデータブック 2014 動物編 (2014 島根県)
- ・ 環境省レッドリスト 2015 (2015 環境省)
- ・ 川の生物図典 (1996 (財)リバーフロント整備センター編)
- ・ フィールドガイド日本の野鳥 増補改訂版 (1989 (公社)日本野鳥の会)
- ・ 山溪カラー名鑑 日本の淡水魚 (1995 (株)山と溪谷社)
- ・ 山溪カラー名鑑 日本の樹木 増補改訂新版 (2011 (株)山と溪谷社)
- ・ 山溪ハンディ図鑑 2 山に咲く花 増補改訂新版 (2013 (株)山と溪谷社)

【もっと詳しく知りたい人へ】

- ・ 改訂しまねレッドデータブック (島根県環境生活部自然環境課 HP)
<http://www1.pref.shimane.lg.jp/contents/rdb/rdb2/>
- ・ 外来生物法 (環境省 HP) <http://www.env.go.jp/nature/intro/index.html>
- ・ 宍道湖自然館ゴビウス HP <http://www.gobius.jp/>
- ・ 三瓶自然館サヒメル HP <http://www.nature-sanbe.jp/sahimel/>

かん ちょう いき
感 潮 域

汽水環境となる感潮域では、海と川
を行き来する生きものが多く見られ
ます。また、広いヨシ原やヤナギ林、
干潟などのさまざまな環境が存在す
るため、多様な生きものがいます。



国 NT・島 VU

ミサゴ

下から見ると白っぽい大きなタカの仲間で、ダイ
ビングして魚をとって食べます。



ホシハジロ

冬に渡ってくるカモの仲間で、よく群れて見られ
ます。潜って水草を食べます。



ウミネコ

冬に河口部でセグロカモメなどと一緒に群れて見
られることが多いです。



国 VU・島 NT

シロチドリ

留鳥（一年中見られる鳥）で、河口～海岸の砂浜
で繁殖します。よく似たコチドリもいます。



アオアシシギ

シギ・チドリ類の多くは、春と秋の渡りの時期に
河口の干潟などを利用します。



オオジュリン

冬にヨシ原に渡ってきます。ゆっくりとしたテン
ポで、ジュリ、チュリーンなどと鳴きます。

国 EN



ニホンウナギ ※写真は未成年

遠い海で産卵し、稚魚は川に戻ってきて大きくなります。夜行性で、昼間は穴に潜っています。



スズキ

季節によって生息場所を変え、春～夏は川に入りますが、秋になると海に下り越冬します。

国 VU・島 NT



アユカケ (カマキリ)

頭が大きく、えらぶたの後ろにトゲがあります。川と海を行き来しますが、のぼる力は弱いです。



ゴクラクハゼ

ほほにミミス模様があります。川の中で見られるハゼの仲間の多くは、川と海を行き来します。



ウキゴリ

水中をよく浮いています。第1背びれの後端部に黒い斑紋があります。

島 NT



バンケイガニ

水辺の土や石の下などに巣穴を掘ります。よく似たクロバンケイガニやアカテガニもいます。



テナガエビ

長い手(ハサミ)を持ちます。よく似たミナミテナガエビ、ヒラテナガエビもいます。

島 NT



ヒメヌマエビ

全体が赤褐色で、背中に縦線があります。横しまタイプもいます。川と海を行き来します。



イシマキガイ

丸っこい貝類で、殻の表面に細かい模様があります。感潮域の石などにひっついてます。



ニホンアマガエル



シュレーゲルアオガエル

川岸の草地や田んぼでよく見られます。目の横の黒い線の有無が違います。



島 VU

ジャコウアゲハ

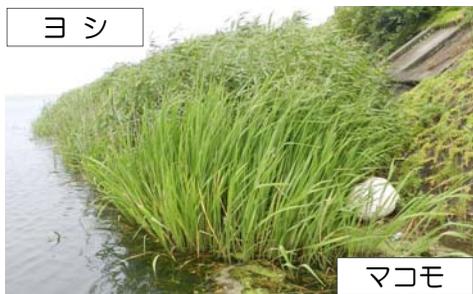
翅はつやのない黒色で、腹部に赤い模様があります。幼虫はウマノズクサの葉を食べます。



チョウトンボ

翅の幅が広く、チョウのようにひらひらと飛びます。

ヨシ



マコモ

浅い水中に生えるヨシやマコモは、水生動物の隠れ場となったり、水質の浄化に役立ちます。

国 NT・島 VU



タコノアシ

水ぎわに生え、秋に全体が赤くなり目立ちます。花のつく様子がタコの足のように見えます。



ハマヒルガオ

海岸や河口付近に生えます。葉っぱがやや厚く、光沢があります。



ゴキツル

水辺によく生えるつる植物で、実は熟すと2つに割れて種を落とします。

下流域

しゅうい た はたけ ひろ かわはば
 周囲に田んぼや畑が広がり、川幅が
 ひろ なが かりゅういき
 広く流れのゆっくりとした下流域では、
 ゆるやかな流れを好む生きもののおお
 み
 見られます。



カワウ

くちばしのさきがかぎ形に曲っており、水中に潜
 って魚をとって食べます。



アオサギ

川や田んぼなどで見られる大型のサギの仲間
 で、木の上で集団で営巣します。



カルガモ

主に冬鳥ですが、静間川では留鳥も見られます。
 群れで生活することが多いです。



イソシギ

静間川では留鳥として、川原などで見られます。
 飛ぶと翼の白い帯が目立ちます。



ハクセキレイ

低地の水辺に多く、地上を歩きながら昆虫などを
 ついばんだりします。



カヤネズミ(巣)

水気のある草地を好むネズミで、ヨシやスキな
 どの葉で球形の巣を作ります。



フナ類

ゆるやかな流れを好み、水草などに卵を産みます。口元にコイのようなヒゲはありません。



オイカワ

浅く開けた場所を好みます。春～夏の産卵期のオスは、写真のような鮮やかな婚姻色が現れます。



ドジョウ

田んぼや水路で多く見られますが、川の中の泥がたまったような場所にもいます。



ナマズ

うろこはなく、体の表面がヌルヌルしています。口元に2対のヒゲがあります。



メダカ南日本集団 (ミナミメダカ)

流れのない川の岸辺、田んぼや水路などで見られます。群れで生活し、水草などに産卵します。



ミナミヌマエビ

下～中流域のヨシ原や水草の中にいます。ほかのヌマエビ類と異なり、一生を川で過ごします。



トノサマガエル

田んぼに多いですが、川辺でもよく見かけます。背中たて線模様があります。



ヌマガエル

背中にイボがあり、お腹は白色です。よく似たツチガエルもいて、お腹はまだら模様です。



ベニシジミ

草花の咲く白当たりのよい川原や堤防でよく見られます。オレンジ色と灰色の小さなチョウです。



キタテハ

川原や堤防の草地で見られます。幼虫は主にカナムグラを食草とします。



エビモ

浅い水中に生える水草で、葉っぱのふちが波打っています。



シャク

春の川原に多く見られます。白い5枚の花びらのうち、外側の2枚が大きいです。



ソクズ

高さ 1.5メートルにもなる大型の草で、夏に白い花を咲かせます。川原で見かけます。



ミゾソバ

水ぎわに多く見られます。葉はほこ形で、夏～秋にピンクの花を咲かせます。



ヤナギタデ

川原に多く見られます。葉がヤナギに似ており、秋には紅葉します。



サクラタデ

ヤナギタデに似ていますが、やや大きく、淡い紅色の美しい花を咲かせます。

中流域

中流域では、やや水深があり流れの遅い淵や、流れが速く石がごろごろする瀬が現れ、それらの場所を利用する生きものが見られます。



ダイサギ

白い大きなサギの仲間で、水田や川の浅場で魚や小動物を捕まえます。



カイツブリ

丸っこい小型の水鳥で、潜るのが上手く、魚や甲殻類、貝類などをとって食べます。



カワセミ

コバルト色の美しい小鳥で、水辺の小枝などに止まり、魚を見つけてダイビングします。



セグロセキレイ

川原などの水辺で、しばしばつがいで見られます。ハクセキレイに似ますが、顔が黒いです。



イワツバメ

腰の部分が白く、尾が短いツバメの仲間です。夏に橋の下などで集団で営巣します。



モズ

低木のある川原や田畑、集落付近などにすみ、昆虫やカエルなどの小動物を捕まえます。



アユ

一生のうちで川と海を行き来し、石に付いた藻を食べます。近年は減少しています。



カワムツ

中～上流域の流れのゆるやかな淵に多く、植物が水面に張り出したような場所を好みます。



シマドジョウ

体の側面に黒いしま状の模様があります。川底が砂の場所を好みます。



ドンコ

中～上流域の流れのゆるい場所にすんでいます。大きな口で小魚や甲殻類をとって食べます。



モクズガニ

ハサミにふさふさとした毛が生えています。繁殖のために川と海とを行き来します。



カワナ

川底の石や護岸にくっついてます。ゲンジボタルの幼虫のエサとなります。



ニホンシガメ

甲羅の後ろがギザギザに切れ込みます。春や秋に日光浴のためによく陸に上がっています。



ニホンスッポン

カメのような硬い甲羅を持たず、鼻先はとがっています。たまに日光浴をする姿を見かけます。



ハグロトンボ

オスの翅は黒く、メスは光沢のない濃い褐色です。水生植物の多い水辺でよく見られます。



ニホンカワトンボ

平地～山地の清流にすんでいます。翅の色にはいろいろなタイプがあります。



ツルヨシ

ヨシよりも草丈が低く、地上にツルを這わせます。上流の砂れき川原に多く見られます。



セイタカヨシ

ヨシよりも大型で高さ 4～5メートルにもなります。茎は硬く、葉は垂れずに斜め上に伸びます。



ノイバラ

川岸でよく見られ、枝にするどいトゲがあります。春に白い花を咲かせ、秋には赤い実をつけます。



カナムグラ

つる植物で、日当たりのよい川岸ではほかの植物を覆いつくすように生えています。



アカメガスワ

山野に生え、川岸でもよく見られます。赤い新芽が自立ちます。



アカメヤナギ

葉にやや丸みのあるヤナギの仲間、新芽は赤くなります。寄り州に点々と生えています。

上流域

周囲を山林に囲まれ、流れが早く、川底に石が転がる上流域では、きれいな溪流環境を好む生きものが多く見られます。



国 VU・島 CR+EN

サシバ

夏に渡ってくるタカの仲間です。良好な里山環境を指標する生きものです。



マガモ

冬に渡ってきて、屋間は開けた安全な水面などに群れて休んでいることが多いです。



カワガラス

溪流にすみ、水に潜って昆虫などを捕ります。水上を低く飛びながら、ビツ、ビツと鳴きます。



キセキレイ

平地～山地の水辺にすみ、長い尾を活発に振りながら川岸をよく歩き回ります。



島 DD

コシアカツバメ

腰の部分がか茶色のツバメの仲間です。とっくり型の巣を作ります。



オオルリ

夏に渡ってくる青い美しい小鳥で、溪流沿いの林を好みます。日本三鳴鳥のひとつです。



タカハヤ

ちゅう じょうりゅういき らち いわかげ
中～上流域の淵や岩陰などにいます。うろこが
小さく、泥をつけたような模様をしています。



カワヨシノボリ

ちゅう じょうりゅういき いし おお ぼしょ
中～上流域の石の多い場所にいます。こどもは
うみくだ かつ ます
海に下らずに、一生を川で過ごします。



ヌマエビ

ヌマエビの仲間はどこにもよく似ていますが、静岡
川水系では本種が一番広く分布しています。



サワガニ

みずのきれいな川にすみ、砂れきや小石の多い場所
を好みます。



タヌキ

こうどうはんい ひろ みすべ あらわ きのみ
行動範囲が広く、水辺にもよく現れます。木の
や昆虫のほか、カエルやカニなども食べます。



カジカガエル

みずがきれいで石の多い川などにすみます。フィー
フィフィと美しい声で鳴きます。



ミヤマカワトンボ

みずきわに水生植物が多く生えている溪流を好み
ます。翅は褐色で、後ろの翅に帯があります。



ミヤマアカネ

ゆるやかな流れにすみます。翅に幅広い褐色の帯
があるアカトンボの仲間です。



セキショウ

溪流の脇などに生えています。よく似たショウブは、葉の中央に自立つ脈があります。



シラネセンキュウ

山地の岸边に生え、高さ80~150センチメートルになります。秋に白い小さな花を密につけます。



ツリフネソウ

山地の水辺に生え、夏~秋に赤紫色の花をつり下げるようにして咲かせます。



ミズタビラコ

溪流沿いに生えます。茎や葉がやわらかく、春に白~水色の小さな花を密につけます。



ナガミノツルキケマン

山地に生え、上流域の川岸でも見られます。夏~秋に黄色の花を咲かせます。



チャルメルソウ

溪流沿いの湿り気のある場所に生えます。春に黒っぽい赤色の花をつけます。



ウワバミソウ

山地の湿り気のある場所に生えます。茎は瑞々しく、葉はゆがんだ長楕円形をしています。



オニグルミ

川沿いに生え、高木になります。秋に3~4センチメートルくらいの大きな実をつけます。

し せん いき
支 川 域
さん べがわ ぎんざんがわ
(三瓶川・銀山川など)

しすまがわ なが こ かわ しせん
静岡川に流れ込む川を支川と
いいます。



カワアイサ

くちばしが細く、先がかぎ形に曲がっています。冬に三瓶ダムのさひめ湖などに渡ってきます。



島 VU

ヤマセミ

けいりゅう にすみ、すいちゅう にダイビングして魚をとって食べます。三瓶川の上流で確認されました。



国 EN・島 CR+EN

クマタカ

しょくもつれんき ちようてん いち 位置する生きものです。支川の上流で確認されました。



国 DD・島 NT

オシドリ

おもに冬鳥ですが、忍原川では留鳥になっているものもいます。オスは美しい羽根を持ちます。



ベニマシコ

オスのくちばしの付け根やお腹が赤い小鳥です。川岸のヨシ原や低木林などで見られます。



ウグイ

いぜんは静岡川水系で広く見られましたが、今回の調査では銀山川でのみ確認されました。



国 NT

ヤマメ

石がごろごろと転がる水の冷たい溪流を好みます。三瓶川のは自然分布かどうかは不明です。



ギギ

小型のナマズの仲間、4対のヒゲがあります。
忍原川で確認されました。



オオヨシノボリ

胸びれの根元に黒い斑紋があります。流れの速い場所を好み、支川でのみ確認されました。

島 NT



国 NT

アカハライモリ

田んぼや水路、ため池などに多いですが、川の上りでも見かけます。お腹に赤い模様があります。



ゲンジボタル

初夏の夜に川辺で光ります。静間川中～上流域のほか、三瓶川や銀山川でも多く見られます。



アオスジアゲハ

黒い翅に水色の帯が目立ちます。晴れた日に川原で吸水する姿が見られます。



島 NT

オオチャバナセジリ

茶色の翅に白い模様がシグザグ状に並びます。川原の草地などで見られます。



イシミカワ

川原などに生えるつる植物で、茎にはトゲがあります。秋に藍色の実をたくさんつけます。



カラスウリ

秋になるとだいたい色に熟した実が目立ちます。三瓶川沿いで多く見られます。

外来生物

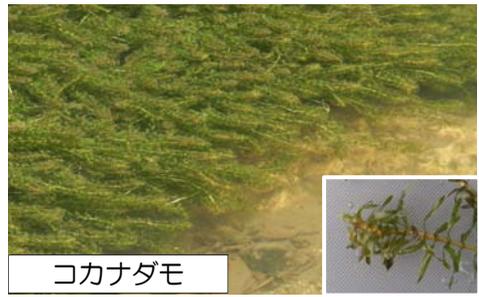
もともとその地域にはいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生きものを「外来生物(外来種)」といいます。外来生物が増えると、もともといた生きものの生息・生育をおびやかしたり、農業・漁業への被害や人への危害など、人間活動に悪影響を及ぼすおそれがあります。

外来生物のうち、海外から入ってきた生きもので特に影響の大きいものについては、国が「特定外来生物」に指定し、飼育や栽培、移動などが法律で原則禁止されています。





オオカナダモ



コカナダモ



特定外来生物

オオカワチシャ



オランダガラシ (クレスン)



キショウブ



特定外来生物

オオキンケイギク



特定外来生物

アレチウリ



セイトカアワダチソウ

しずまがわすいけい ほんらい しぜんかんきょう まも がいらいせいぶつ
静間川水系の本来の自然環境を守っていくためには、外来生物を
「入れない・捨てない・広げない」ことも大切です。

